

2022年5月10日～9日～

市民連合政策要望シンポジウム、野党が要望書確認、野党共闘

立・共「閣外協力」棚上げ 参院選1人区、共闘は限定的
時事通信 2022年05月09日20時50分



夏の参院選に向けた民間団体「市民連合」

の政策要望書を手に並ぶ立憲民主党の西村智奈美幹事長（右から5人目）や共産党の小池晃書記局長（同4人目）ら=9日午後、衆院議員会館



立憲民主党の西村智奈美幹事長と共産党の小池晃書記局長は9日、国会内で会談し、参院選協りに当たり、昨年の衆院選で両党が結んだ「限定的な閣外からの協力」を棚上げすることを確認した。1人区の候補者調整は勝利する可能性が高い選挙区を優先することで一致した。

【点描・永田町】参院東京は全党参戦の大激戦

両党は3月、1人区の協議入りで合意。協りに当たり、共産は閣外協力の合意維持を求めたが、立民は参院選では不要と譲らなかった。会合後、西村氏は記者団に「政権の枠組みの議論は横に置く」と説明。小池氏も記者会見で「今回は横に置くことになった」と認め、「その結果、候補一本化はかなり限定された選挙区で行うことになる」と指摘した。

この後、民間団体「市民連合」は立民、共産などに対し、1人区での共闘を求める政策要望書を提出。4本柱の項目で構成される要望書は、昨年の衆院選で提言した安全保障関連法の違憲部分の廃止について項目には盛らず、前文で触れるにとどめた。立民、共産は要望書を踏まえ、候補者調整を進める方針。

立民と共産「閣外協力棚上げ」 参院選、勝てる選挙区を優先
2022/5/9 21:55 (JST)5/9 22:09 (JST)updated 共同通信社



「市民連合」の要望書を手に写真に納まる野党幹部ら=9日午後、国会

立憲民主党の西村智奈美幹事長と共産党の小池晃書記局長は9日、夏の参院選を巡って国会内で会談した。衆院選で政権交代が実現した場合に「限定的な閣外からの協力」をするとして2021年9月の合意を棚上げすると申し合わせた。全国で32ある改選

1人区の候補者調整について、与党候補に勝利する可能性が高い選挙区を優先して実施する方針を確認した。

16、19年の参院選では野党各党は事実上の共通政策をまとめて党首が署名したが、今回は署名しなかった。これまでの野党共闘とは異なり、政策や選挙区での緩やかな連携にとどまる形となる。

参院選の「野党共闘」、一部にとどまる見通し 党首署名の合意見送り

朝日新聞デジタル横山翼 2022年5月9日 22時10分



市民連合からの政策要望

書を持つ立憲民主党の西村智奈美幹事長（左から6人目）、共産党の小池晃書記局長（右から5人目）、社民党の福島瑞穂党首（同4人目）ら=2022年5月9日午後6時37分、国会



夏の参院選に向けた「野党共闘」をめぐり、立憲民主党と共産党は9日、全国に32ある1人区について、野党候補の勝利が見込まれる選挙区を優先して候補者調整を進める方針を確認した。ただ、各党首が署名する形での「政策合意」は見送り、これまでの協力規模には及ばない見通しだ。

この日午後、立憲の西村智奈美幹事長と、共産の小池晃書記局長が国会内で会談し、方針を確認した。西村氏は記者団に「野党がばらばらでは戦えない」と述べ、候補者調整をする意義を強調。小池氏も「市民と野党の共闘の旗を降ろすつもりはない」と語った。

ただ、各党首が署名する形で…

残り 676 文字

参院選 全1人区一本化断念 立憲・共産「限定的実施」

毎日新聞 2022/5/10 東京朝刊

立憲民主党の西村智奈美幹事長は9日、共産党の小池晃書記局長と国会内で会談し、夏の参院選での改選数1の「1人区」（32選挙区）での候補者一本化について、「勝利する可能性の高い選挙区」を優先することで合意した。これまで目指してきた全1人区での一本化は事実上断念することになった。

残り 428 文字（全文 566 文字）

立民・共産、閣外協力合意を棚上げ 夏の参院選で

日経新聞 2022年5月9日 19:15

立憲民主党の西村智奈美幹事長と共産党の小池晃書記局長は9日、国会内で参院選を巡り会談した。2021年の衆院選で政権交代が実現した場合に共産党が「限定的な閣外からの協力」をするとして両党の合意を棚上げにすると決めた。

参院選の選挙協力に関して「勝利する可能性の高い選挙区を優先して候補者を調整する」とも確認した。

共産党は閣外協力の合意について「国民との約束だ」と継続を求めてきた。立民は政権交代を伴わない参院選であることを理由に、政権の枠組みに関わる合意は不要との立場を譲らなかった。

立民と共産「限定的閣外協力」 参院選見送りへ

産経新聞 2022/5/9 18:21

立憲民主党の西村智奈美幹事長と共産党の小池晃書記局長が9日、国会内で会談した。小池氏は会談後の記者会見で、昨年の衆院選で立民と交わした政権交代実現時の「限定的な閣外からの協力」に関し、夏の参院選に向けては合意に至らなかったと説明。立民との改選1人区での選挙協力も限定的になるとの見方を示した。

小池氏によると、立民側は「今回は参院選なので政権合意は必要ない」と主張し、「国民への公約であり、引き続き維持、発展させるべきだ」と訴えてきた共産との距離は埋まらなかった。小池氏は「折り合わなかったので今回は横に置くことを確認した。合意に至らなかったのは大変残念だ」と述べた。

また、小池氏は参院選の選挙協力について、「勝利する可能性の高い選挙区を優先して両党で候補者調整を行うことを確認した。1人区での候補者一本化はかなり限定された選挙区で行うことになると思う」と語った。

共産は野党共闘の深化を目指していたが、先の衆院選後に就任した立民の泉健太代表は中道路線を掲げ、共産との関係は「白紙にする」と主張していた。

立民と共産「閣外協力棚上げ」 参院選、勝てる選挙区を優先

東京新聞 2022年5月9日 21時55分 (共同通信)



「市民連合」の要望書を手に写真に

納まる野党幹部ら＝9日午後、国会

立憲民主党の西村智奈美幹事長と共産党の小池晃書記局長は9日、夏の参院選を巡って国会内で会談した。衆院選で政権交代が実現した場合に「限定的な閣外からの協力」をすとした2021年9月の合意を棚上げすると申し合わせた。全国で32ある改選1人区の候補者調整について、与党候補に勝利する可能性が高い選挙区を優先して実施する方針を確認した。

16、19年の参院選では野党各党は事実上の共通政策をまとめて党首が署名したが、今回は署名しなかった。これまでの野党共闘とは異なり、政策や選挙区での緩やかな連携にとどまる形となる。

しんぶん赤旗 2022年5月10日(火)

野党が市民連合「要望書」確認



(写真) 市民連合の「要望書」を

掲げる(前列左から)山口、西村、小池、福島、伊波、嘉田、雨宮の各氏＝9日、衆院第2議員会館

国会内シンポ 命・暮らしを守る政治へ

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合(市民連合)は9日、国会内でシンポジウム「立憲主義の理念を共有する野党の勝利で、いのちと暮らしを守る政治の実現を」を開催し、7月の参院選での野党協力を求め、各野党・会派に政策の提案・要望を行いました。

日本共産党の小池晃書記局長、立憲民主党の西村智奈美幹事長、社民党の福島瑞穂党首、参院会派「沖縄の風」の伊波洋一参院議員、同「碧水会」の嘉田由紀子参院議員が出席し、市民連合の「政策要望書」を確認しました。

「政策要望書」は、「平和」「暮らし」「気候変動」「平等と人権保障」の四つの柱で政策を提起し、参院選での1人区における野党協力を最大限実現することを求めています。

コーディネーターの山口二郎法政大学教授は「野党の側から争点を設定し、きっちり対決の構図を打ち出す選挙戦をつくっていききたい」と訴え。ウクライナ危機に乗じた改憲の危険性や、安保法制の廃止の重要性を主張しました。

小池氏は、政策要望を歓迎し、「日本の政治を変える道は市民と野党の共闘しかない。このことは6年半の実践で証明されている。さまざまな困難もあるがそれを乗り越え、前に進めるために努力をしていきたい」と決意を表明しました。その上で政治情勢について、ウクライナ危機に乗じて自民党や日本維新の会が「9条改憲」「核共有」「敵基地攻撃」などの危険な動きを進めていると指摘し、「野党の共闘の原点である『安保法制＝戦争法の廃止』の旗印が本当に大事になってきている」と強調。「共闘の大義と魅力は、野党が声を合わせて肩を並べてこそ国民の心に届くということだ。対等平等・相互尊重の立場でこそ本当の意味で力のある共闘になる」と語りました。

最後に山口氏は「野党のみなさんにも『政策要望』については基本的に賛同していただいたと理解します」と締めました。

作家の雨宮処凛さんが参加しました。

しんぶん赤旗 2022年5月10日(火)

政権合意と候補者調整について確認 共産・立民が書記局長幹事長会談

日本共産党の小池晃書記局長と立憲民主党の西村智奈美幹事長は9日、国会内で会談し、今夏の参院選に向けて次の2点を確認しました。

第1点は、前回総選挙にあたって両党が合意した日本共産党による「限定的な閣外からの協力」という政権合意について、「立憲民主党は、今回は参議院選挙なので必要ないという立場。日本共産党は、国民への公約であり、引き続き維持・発展させるべきという立場。折り合わなかったため、今回は横に置く」ということです。

第2点は、32の改選1人区での候補者については「市民連合主催のシンポジウムで政策の枠組みを確認した上で、勝利する可能性の高い選挙区を優先して候補者調整を行う」としました。

小池氏は会談直後の記者会見で政権合意を「横に置く」ということについて問われ、「日本共産党は維持・発展させるべきと主張した

が、合意に至らなかった。さらに、これまでの国政選挙前の政策合意では党首が参加し署名してきたが、今回は書記局長、幹事長による口頭での合意となることも残念だ」と表明。「1人区での候補者一本化も限定された選挙区で行うことになる」としつつ、「日本共産党は、日本の政治を変える道は市民と野党の共闘しかないという立場に立つ。今回の参議院選挙では、市民と野党の共闘が次につながる結果を出せるように全力をあげる」と表明しました。

「市民連合」 参院選に向けた政策 立民 共産などに要望

NHK2022年5月9日 22時58分



夏の参議院選挙に向け、有識者や市民団体でつくる「市民連合」は、立憲民主党や共産党などに対し、憲法9条の改悪反対や原子力発電に頼らないエネルギーへの転換などを一致して訴えるよう要望しました。

「市民連合」は9日夜、国会内で集会を開き、立憲民主党の西村幹事長や共産党の小池書記局長、それに社民党の福島党首らに対し、参議院選挙に向けた政策を要望しました。

要望では、憲法9条の改悪と集団的自衛権の行使に反対することや、原子力発電に頼らないエネルギーへの転換、それに選択的夫婦別姓のための法整備を急ぐことなどを一致して訴えるとともに、1人区で最大限の協力を行うよう求めています。

去年の衆議院選挙で市民連合は、立憲民主党など野党4党との間で、一致して訴える「共通政策」を締結しましたが、今回は各党への要望という形にとどまりました。

NHK2022年5月9日

立民と共産 政権交代時の連携の在り方 棚上げ 参院選では...



夏の参議院選挙をめぐり、立憲民主党と共産党は、懸案となっていた政権交代を実現した場合の連携の在り方については棚上げしたうえで、1人区での候補者の一本化は、勝利する可能性が高い選挙区を優先して、限定的に行う方針で一致しました。

立憲民主党の西村幹事長と共産党の小池書記局長は9日、国会内で会談し、夏の参議院選挙での協力について協議しました。

会談では、去年の衆議院選挙の際に結んだ政権交代を実現した場合の連携の在り方をめぐる合意について「現在、存在しない」とする立憲民主党と、「維持すべきだ」とする共産党の間で折り合いがつかず、夏の参議院選挙では議論を棚上げすることを確認しました。

そのうえで、選挙全体の勝敗を左右するとされる、定員が1人の

1人区での候補者の一本化は、与党の候補に勝利する可能性が高い選挙区を優先して、限定的に行う方針で一致しました。ただ、今回の選挙で共産党は、立憲民主党の現職が立候補を予定している1人区には候補者を擁立していないため、実際に候補者調整が行われるのは、ごく限られた選挙区にとどまる見通しです。

「市民連合」 参院選に向けた政策 立民 共産などに要望



夏の参議院選挙に向け、有識者や市民団体でつくる「市民連合」は、立憲民主党や共産党などに対し、憲法9条の改悪反対や原子力発電に頼らないエネルギーへの転換などを一致して訴えるよう要望しました。

「市民連合」は9日夜、国会内で集会を開き、立憲民主党の西村幹事長や共産党の小池書記局長、それに社民党の福島党首らに対し、参議院選挙に向けた政策を要望しました。

要望では、憲法9条の改悪と集団的自衛権の行使に反対することや、原子力発電に頼らないエネルギーへの転換、それに選択的夫婦別姓のための法整備を急ぐことなどを一致して訴えるとともに、1人区で最大限の協力を行うよう求めています。

去年の衆議院選挙で市民連合は、立憲民主党など野党4党との間で、一致して訴える「共通政策」を締結しましたが、今回は各党への要望という形にとどまりました。

立民と共産 参院選1人区での候補者一本化 限定的に行う方針

NHK2022年5月9日 22時59分



夏の参議院選挙をめぐり、立憲民主党と共産党は、懸案となっていた政権交代を実現した場合の連携の在り方については棚上げしたうえで、1人区での候補者の一本化は、勝利する可能性が高い選挙区を優先して、限定的に行う方針で一致しました。

立憲民主党の西村幹事長と共産党の小池書記局長は9日、国会内で会談し、夏の参議院選挙での協力について協議しました。

会談では、去年の衆議院選挙の際に結んだ政権交代を実現した場合の連携の在り方をめぐる合意について「現在、存在しない」とする立憲民主党と、「維持すべきだ」とする共産党の間で折り合いがつかず、夏の参議院選挙では議論を棚上げすることを確認しました。

そのうえで、選挙全体の勝敗を左右するとされる、定員が1人の1人区での候補者の一本化は、与党の候補に勝利する可能性が高い選挙区を優先して、限定的に行う方針で一致しました。

ただ、今回の選挙で共産党は、立憲民主党の現職が立候補を予定している1人区には候補者を擁立していないため、実際に候補者調整が行われるのは、ごく限られた選挙区にとどまる見通しで

す。

立憲民主と共産 参院選「勝利する可能性高い選挙区」優先し候補者調整

ANN2022/05/09 23:30

立憲民主党と共産党は夏の参議院選挙について、与党候補に勝つ可能性が高い選挙区を優先して候補者調整を行うことを確認しました。

立憲民主党・西村幹事長：「バラバラであっては戦えないということで、そこはできるだけ調整をしていきましょうと」

一方で、両党が去年の衆院選の前に合意した「限定的な閣外協力」という政権の枠組みについては立憲側が難色を示し参院選では見送ることになりました。

共産党・小池書記局長：「(政権合意は)国民に選挙で公約したことでもあるし、引き続き維持・発展させるべきだと」

共産党の小池書記局長は「合意に至らず残念だ」と述べたうえで、候補者の一本化は「かなり限定された選挙区で行うことになる」との考えを示しました。

立憲“政権獲得での共産との協力”示さない方針 夏の参院選で

NNN2022年5月9日 18:18

立憲“政権獲得での共産との協力”示さない方針 夏の参院選で今回は「政権運営で協力すること」は見送ります。

立憲民主党は政権を獲得した場合、共産党と協力するかについて、夏の参議院選挙では示さない方針を決めました。

去年の衆議院選挙では共産党が「限定的に閣外で協力する」ことで合意し、発表していました。

共産党は協力を続けることを望んでいましたが、立憲民主党は共産党との政権をめぐる協力表明が衆院選での議席減少につながったと分析しているため、今回は見送りました。

立憲・共産「勝てる1人区」で一本化 参院選 閣外協力は棚上げ

北海道新聞 05/10 08:05 更新

立憲民主党の西村智奈美幹事長と共産党の小池晃書記局長は9日、国会内で会談し、夏の参院選で全国32ある改選1人区について、与党候補に勝利する可能性が高い選挙区を優先して候補者一本化を図る方針を確認した。昨秋の衆院選で政権交代が実現した場合に「限定的な閣外からの協力」をすとした両党の合意を棚上げすることも申し合わせた。

両党は2016年、19年の参院選では1人区全てで候補者を一本化していた。会談後、西村氏は記者団に「党勢拡大言えば(政党は)候補者を立てて戦いたい。全てで調整できないとしても受け入れざるを得ない」と説明。小池氏も「時期も迫っており(調整は)一定数に限定される」と述べた。対象となる選挙区は明言しなかった。

会談後、西村、小池両氏は、安全保障関連法の廃止を求める市民グループ「市民連合」の会合に参加。市民連合は参院選に向けて「平和国家路線の堅持」などを柱とする政策を提言し、野党の共通政策とするよう呼び掛けた。

社民党の福島瑞穂党首も出席し、小池、福島両氏は呼び掛けに

賛同。西村氏は会合後、記者団に「提言に賛同はしていない。(共通政策には)ならないんじゃないか」と否定的な姿勢を示した。国民民主党、れいわ新選組は参加しなかった。(袖山香織、田島工幸)

雨宮処凛氏 立民ら野党幹部に緊急提言「13年前まで社会にあった女性を守る余力が、とうに消え去った」

東スポ 2022年05月09日 22時00分



作家の雨宮処凛氏 (東スポ Web)

作家の雨宮処凛氏(47)が9日、国会内で行われた「立憲主義の理念を共有する野党の勝利で、いのちとくらしを守る政治の実現を一参議院選挙に向けた市民連合シンポジウム」に出席した。

同シンポジウムには、国民民主党(玉木雄一郎代表)とれいわ新選組(山本太郎代表)以外からの立憲民主党を始めとした野党幹部が出席した。

雨宮氏は「コロナ禍で深刻化する貧困」と題したリポートを野党議員に紹介。2020年に「反貧困ネットワーク」の呼びかけで「新型コロナ災害緊急アクション」を結成してメールフォームを立ち上げると「コロナで職を失い、家賃滞納、アパートを追い出される」といった「SOS」の声は現在も入るという。

「16年間、貧困問題に関わっています。この2年は毎日が「野戦病院、のような状況です。83%が住まいなし、50%が携帯が止まっています。こういう人たちは10~30代で60%以上を占めて若年化しています」(雨宮氏)

目立つのは女性の困窮だという。2020~21年、コロナ被害相談村には3日間で344人が訪れ、うち女性62人(18%)、2021年から22年は同村に2日間418人のうち89人(21%)が女性による相談だったという。

「この2年間、非正規でなんとか家賃払って自立している人たちが(仕事を)切られて路上に追い出されるのを目の当たりにした。13年前までは、女性を守る余力が社会にまだあったが、でもそんな余力は、もうとっくのとうに消え去ったんだとわかりました」

今夏の参議院が終われば「3年間、選挙がない」(社民党・福島瑞穂)と指摘したが、雨宮氏は選挙に向けて野党幹部らにこう訴えた。

「3年後の2025年、私は50歳です。非正規が多く生まれた就職氷河期世代の「ロスジェネ」です。この20何年間、(自分を中心とした)政治は何をやってきたのか。私は焦りを感じるので、この焦りをみなさん(野党各党)と共有したいと思います」

野党各党は自民党、公明党が高い支持率の中、参院選で有権者にどうジャッジされるか。

前哨戦がGW中も...立憲・杉尾氏と自民・松山氏の陣営動き活発 参院選長野 3人が立候補表明



資料：国会議事堂

今年夏の参議院選挙は、有力視される投開票日まであと 2 カ月となりました。1 議席を争う長野県区にはこれまでに、現職 1 人、新人 2 人が立候補を表明しています。この内、2 つの陣営は大型連休中も活発に動き、前哨戦は徐々に熱を帯びています。立憲・現職 杉尾秀哉さん：「今の政治に対して、健全なチェック&バランス、健全な監視役を果たすことができるのは私たちしかないんじゃないでしょうか」 ニュースキャスターから転身し、2 期目を目指す立憲民主党の現職・杉尾秀哉さん。連休中は各地で遊説や集会を重ねた他、8 日には事務所開きもし、準備を着々と進めています。参院選県区では 2016 年以降、「野党統一候補」が 3 連勝。しかし、去年の衆院選では、「共産党との距離の近さ」から立憲は非自民の票をまとめきれず、苦戦を強いられました。そこで、今回は共産、社民とは直接の協定を結ばず、杉尾さんを支援する市民団体と両党の県組織が政策協定を結ぶ形にしました。共産色を嫌う連合系の労組や保守層に配慮しています。立憲・現職 杉尾秀哉さん：「こうした形でそれぞれの党が市民連合と結ばれたわけで、その中で、この長野県でなんとしても勝たなければいけない」立憲・現職 杉尾秀哉さん（街頭演説）：「（自民政権下で）一部の人はもうかったかもしれないけど、多くの国民が置き去りにされて、まさにそういう人たちが今、一番、物価高の影響を受けている」連休中は「新型コロナの影響や物価の高騰で生活苦が続く」とし、賃金の底上げや経済活性化、社会保障の拡充を訴えました。立憲・現職 杉尾秀哉さん：「一強政治をさらに進めるのか否か、今まさに真価が問われている。平和に対して思い入れの強い長野県の皆さんに訴えていきたい」自民・新人 松山三四六さん：「日本一安心できる、信州を日本一魅力的な県へ、三四六は必ず実行してまいります」自民党から立候補予定の新人・松山三四六さん。タレントとして 20 年余り、県内のテレビやラジオで活動してきました。参院選での連敗を止めたい自民党県連は、知名度の高さに期待して擁立を決めました。連休中は浸透を図ろうと、遊説を重ねてきました。8 日はタレント時代のファンに向け、出馬の経緯などを説明する場を持ちました。自民・新人 松山三四六さん：「先代たちが築いてくれた誇りある信州、次に誇れる信州としてタスキをつなぎたい。僕は徹底的に信州を宣伝しますから、徹底的にテコ入れしますから」「信州を次世代に誇れる場所に」をキャッチコピーに、現役世代への社会保障の拡大などを政策に盛り込みます。自民・新人 松山三四六さん：「新型コロナが収束した後、傷ついた人々の生活と心を癒して、以前よりも新しい良い時代を構築していかなければいけないじゃないですか。若い世代と成熟した世代がしっかり手を握り合って、新しい時代を全世代で作上げていくんだと、強く訴えていきたい」この他、県区では NHK 党から宮崎県出身で会社経営者の日高千穂さんが立候補を予定。日本維新の会も候補擁立を探っています。構図は定まったとは言えないものの、徐々に熱を帯びる前哨戦。参院選は 6 月 22 日公示、7 月 10 日投開票の日程が有力視されています。

参院選の野党共闘へ信州市民連合が集会
信濃毎日新聞 2022/05/08 07:00

市民団体などで作る「信州市民連合」は 7 日、夏の参院選県区（改選数 1）での野党共闘に向け立憲民主党、共産党、社民党の各県組織と政策協定を結んだことを受けた...
（残り 215 文字／全文 294 文字）

しんぶん赤旗 2022 年 5 月 5 日(木)

参院選 杉尾氏 長野統一候補に 3 野党 市民連合と政策協定



（写真）政策協定書に

調印した信州市民連合と共産党長野県委員会の代表ら＝4 日、長野県委員会

長野県の日本共産党、立憲民主党、社会民主党は 4 日、参院選の長野選挙区（改選数 1）で立憲現職の杉尾秀哉参院議員（64）を市民と野党の統一予定候補として一本化し、勝利へ全力を挙げること合意しました。

3 野党は同日、勝利に向け信州市民連合との政策協定書にそれぞれ署名。今回の参院 1 人区での統一候補の決定は、全国初です。

協定署名に先立ち、共産党の鮎沢聡県委員長、立憲の下条みつ衆院議員、社民の中川博司県議ら各党代表は長野市で会談。岸田自公政権に厳しい審判を下すため候補を一本化し、3 野党が対等平等・相互尊重の立場で協力し、協定の実現に力を合わせることを口頭で確認しました。

野党と信州市民連合は 7 項目の政策に合意。安保法制の違憲部分撤回とともに「9 条改憲を許さず、平和と協調の憲法の精神に則（のっと）った専守防衛政策を維持」などを確認しました。

調印式に際し、鮎沢氏は「共闘の旗印が鮮明になった。統一候補の杉尾さんを勝利させ、改憲勢力の議席 3 分の 2 を必ず阻止する」と訴えました。又坂常人・信州市民連合共同代表は「勝利へ野党と互いに頑張る」と語りました。

立憲民主党と杉尾氏は同日、長野市で記者会見を開き、共闘の議席を守る決意を表明。杉尾氏は「国民の命と暮らしを守り、平和な社会を次の世代に引き継ぐために再選を目指す」と力を込めました。

同選挙区は、自民新人の松山三四六氏（51）らが立候補を予定しています。

杉尾氏の略歴 1957 年生まれ、東京大学卒。東京放送（TBS）でワシントン支局長など歴任。現在 1 期